お問い合わせ先

〒812-0026
福岡市博多区上川端町9-35
リノベーションミュージアム冷泉荘
A12号 冷泉荘事務局
（11:00～19:00, 火曜定休）
電話/FAX **092-985-4562**
mail **yj@tenjinpark.com**
https://www.reizensou.com/
【SNS】
X（旧Twitter）,
Instagram,
Facebook
@reizensou
冷泉荘YouTubeチャンネル
https://www.youtube.com/@reizensou_hakata

リノベーションミュージアム冷泉荘とは・・・

ビルストック文化の学び合い、そして発信の場

博多区上川端町で築67年を迎えた昭和のレトロビル、リノベーションミュージアム冷泉荘。「福岡の古い建物を大切に活かす（ビルストック活用）」を基本理念に、「ひと」「まち」「文化」を大切に思う人たちが集まっています。2011年1月には耐震補強工事を行い、2012年、第25回福岡市都市景観賞 活動部門にて部門賞受賞。2024年、国登録有形文化財（建造物）に登録。100年続く活動を目指して「持続的」で「環境型」の建物として文化発信を行なっています。

―― 冷泉荘 交通アクセス ――

地下鉄空港線中洲川端駅下車・5番出口から上川端商店街を通り、キャナルシティ博多方向へ。「博多ラーメンはかたや」と「うどんウエスト」の間の道を冷泉公園側に曲がり、博多消防署冷泉出張所手前の小道を入ってすぐ。 （＊駐車場なし）

表紙の写真

A11号 RLLL BAGEL

RILL BAGELは2009年6月オープン
今年16周年を迎えました。
九州産小麦（砂糖・卵・乳製品不使用）の
ベーグルを毎日お店で焼いています。

9:00～ 売切れ次第閉店
火曜定休

RILL BAGEL

冷泉荘入居者紹介

5F
- A51 TETRA + GRAPH テトラグラフ写真室
- A53 nano Architects 信濃設計研究所
- B54 冷泉荘 当初部屋
- B55 ドネルモ

4F
- A41 田中勇気博多人形工房
- A42 TETRA + GRAPH テトラグラフ図書室
- A43 マサカノ ［企画・制作会社］
- B44 tripinsight ［外国人向け旅行会社］
- B45 ドネルモ ［NPO法人 ドネルモ］

3F
- A31 gallery kominkan 民館 ギャラリー港民館
- A32 美容室ヒュッテ
- A33 GAKUKEN SALON 楽研サロン ［限定Bar&Office］
- B34 Laulea yoga & pilates studio ［ヨガ&ピラティス］
- B35 ハッピネス旅行社

2F
- A21 YOU MAKE IT 一般社団法人YOU MAKE IT
- A22 ［韓国語教室］ ソニ
- A23 食道 よっちゃん 屋台的空間で和食を楽しめるお店
- B24 shoe lab noppo ［注文靴・靴作り教室］
- B25 まちづくり屋さん ［地域政策企画・サポート］

1F
- A10 ネコチクラ ［アートギャラリー］
- A11 RILL BAGEL ［ベーグル専門店］
- A12 冷泉荘 リノベーションギャラリー ⓘ 冷泉荘事務局
- A13 そらいろのたね ［こどもアートアトリエ］
- B14,15 冷泉荘 2コ1多目的スペース
- B14-2 冷泉荘 ギャラリー
- B15-2 冷泉荘 よりあい読書室

地下へ
- A101 YOU ARE HERE ユアヒア ［コミュニティセンター］

ご入居・レンタルスペースに関するお問い合わせ
冷泉荘事務局
092-985-4562
お気軽にお問い合わせください。

冷泉荘ギャラリー、2コ1多目的スペース、よりあい読書室は、
利用内容に応じてサイズを変えられるレンタルスペース。
料金は1日4,400円～11,000円（税込）。
展示などで7日間のご利用には、お得な割引プランもございます。

サテライト冷泉荘	205	303
蝶和ビル（博多区店屋町4-8）	ARTAS GALLERY アートギャラリー	博多・町なかやきもん 柊陶房 陶芸教室

駅前1丁目ビル［3階］（博多駅前1-7-9）	辻ノ堂_ラウンジ スタジオオフィス

ステッカー展vol.3

【招待作家】
サガサトミ
YUUTAYO!
【参加作家】
有木あり／いもあん／サカモトショウタ／sakku／ざしきわらし／さちを／shiuka／たいやきうまうま／蛸／たはらふう／月野裏あぼろ／なぎUMA／七苺りこ／なるぺ／和花あず／蜂之宮／ふみと／まんぶく／ミキ／moke.／融点／ゆらすず／弥那

日時：12月5日(金)～12月7日(日)
11:00～18:00
場所：B棟1階 冷泉荘ギャラリー
【詳細】弥那 X @yana_0_6
弥那 Instagram @y_0_6_m

第18回 月光亭落語会「年の初めの神だのみ 今年もウマくいきますようにの巻」

めでてえ新春初笑い、大いにお楽しみいただき、今年もウマいこと走り出しましょう。ご予約はお早めに！

日時：1月10日(土)、1月11日(日)
10日(土)［夜席］18:00開演（開場17:30）
11日(日)［昼席］14:00開演（開場13:30）
［夜席］17:30開演（開場17:00）
場所：冷泉荘演芸場
（B棟1階／2コ1多目的スペース）
出演：月光亭愛眼（立石義江）
月光亭久留米（杉山英美）
月光亭百幸（上田裕子）
月光亭春吉（古賀今日子）
木戸銭：1,000円（自由席）
ご予約：メールにて希望日・時間・席数・お名前・電話番号をお知らせください
gekkoutei_2010@yahoo.co.jp
【詳細】https://www.facebook.com/gekkoutei

ぴよ。のぴよ。によるぴよ。のための写真展「百花繚乱」

15人のフォトグラファーがこの写真展のために ぴよ。を撮り下ろした写真展「百花繚乱」。未公開の作品を含む全45枚の作品を一挙展示。
（モデル）ぴよ。
（カメラマン）
中村りょー／篠遊／すず／満見つき／ケロロ将軍／おっくむら／さるさん／徳さん／とろすけ／ふぁい／ふっしー／水間邦彦／motography／リュウイチ／和

日時：12月12日(金)～12月14日(日)
11:00～18:00
場所：B棟1階 冷泉荘ギャラリー
【詳細】X @piyonotane
Instagram @niwatorininaru

ミヤハラ トモヤ 個展『その瞳の先に、』

「誰かを想う、その瞬間に
世界が色付く」
眺めるたびに、
心がやさしくほどける。
そんな時間を届けたい。

日時：12月26日(金)
～12月29日(月)
11:00～19:00
（初日13:00～、最終日17:00まで）
場所：冷泉荘ギャラリー（B棟1階 左側／B14号）
【詳細】Instagram @tommiy.artwork

M井の頭の中のナカ『しあわせに、したい』

日時：1月21日(水)
～1月25日(日)
12:00～19:00
場所：B棟1階
冷泉荘ギャラリー
入場料：¥500
（おみやげステッカー付き）
【詳細】X @emui_no_hito
https://instabio.cc/emuiume

column REIZENSOU 12月

ドネルモ伝 98

メジャーはドラマより奇なり篇

二刀流の大谷翔平、3年連続MVPの山本由伸、完全試合の佐々木朗希。数々の記録を持つドジャース日本人選手達はポストシーズンも熱かった。レギュラーシーズン上位チームが1月かけて多くの試合を戦い抜き、チャンピオンになる。そんな甲子園ばりのポストシーズンの見せ場は数あれど、最後のワールドシリーズ・ブルージェイズ戦での山本は白眉だった。

まず山本は第2戦を完投勝利する。ワールドシリーズでの完投。次は第6戦で投げるだろうと誰もが考える。しかし第3戦が高校野球ですら珍しい延長18回までもつれにもつれた。すると、何と2日前に完投した山本が19回の投球練習をしているではないか！？投手は通常先発すれば4日は休む。緊急事態とはいえ、本人は行けそうだとコーチに話し、ごく自然に出番に向けて準備していたらしい。自然体が尚更に驚愕のシーンだった。

幸い19回の登板はなく、山本は第6戦も勝利する。ワールドシリーズ2勝。よくやった。もう十分だ。本人も後は皆に任せるつもりだったらしい。しかし舞台はまだ残っていた。最終第7戦も延長戦に突入。そのマウンドには連投の山本の姿があった。ピンチは招くが抜群のコントロールで抑え切る。そしてチームは勝ち越し、胴上げ投手かつMVP。ワールドシリーズ3勝はかのランディ・ジョンソン以来24年ぶりの快挙。

その記録以上に、インタビューでの「昨日は投げる気はなかったけれど、気づいたらマウンドに立っていた」は名言であった。自然体で偉業を達成した山本の来年も楽しみだ。

【今月の担当】笹野正和（NPO法人ドネルモ監事）

冷泉荘プロデュース スペースRデザインのレトロビルこばなし

時をつなぐ修繕 。山王マンション、エレベーターの57年目

築57年を迎える山王マンションで、エレベーターの性能アップ工事を行いました。 建物を長く使い続ける中で、古いものをどこまで生かすか。新しくするとき、これまでの記憶をどう残すか。今回の工事は、そんな問いを改めて考えるきっかけになりました。

一般的にエレベーターの寿命は25～30年といわれています。山王マンションのエレベーターは、建物が完成した当時のものを、メンテナンスや部品交換を重ねながら大切に使い続けてきました。その理由は、ボタンや内装のデザインにあります。いまではもう再現が難しい、当時ならではの素材やディテールが残っており、「ビンテージビル」という山王マンションのコンセプトを象徴する存在でもあります。

しかし、時代とともにエレベーターの安全基準や性能の水準も上がり、古い設備のままでは維持が難しくなってきました。部品の確保や法令への適合も課題となり、検討を重ねた結果、今回は制御盤のみを更新する方法を採用しました。制御盤は、エレベーターの動きを制御・監視するいわば“心臓部”のような部分です。外観や内装をできるだけそのまま残しつつ、安全性を確保する。そんな折衷案でした。ご協力くださった皆さまに心より感謝いたします。それでも、押しボタンや階数表示など、一部は新しい部品に置き換わることとなりました。取り外した部品は保管し、今後はアーカイブとして展示することを検討中です。

建物を長く維持していく中で、どうしても変えなければならない部分が出てきます。何を残し、何を更新するのか。その選択の積み重ねが、山王マンションらしさにつながるのだと思います。今回の工事は、“古いものと共に生きる”という私たちの姿勢を改めて確認する機会となりました。そして、建物に刻まれた時間の記憶を、次の世代へとう手渡していくか。これからも考え続けていきたいと思います。

スペースRデザイン 箱田 未来のビンテージビルを創る。space R design

SUKOYAKA ～ OHANA たちへ ラウレア発 126号（最終回）

AIと私、プルシャとプラクリティ

AIにお世話になることが、私の日常の一部になってきた。考えを整理したり、言葉にしてくれたり、ときには未来の私の姿まで見せてくれる。まるで、もうひとりの私がそばにいるような感覚になることがある。

けれども、ヨガを学ぶほどに気づく。そもそも、私たちは“二つの存在”でできている。プルシャ（純粋意識）と、プラクリティ（物質・心・変化するもの）。見る者と、見られるもの。変わらない本質と、変わり続ける身体と心。私たちの肉体は、ただの“借り物”にすぎないんです。プラクリティであり、移ろいゆく現象。美しい日もあれば、疲れた日もある。若いときもあれば、老いていく日もある。でも、その奥にあるプルシャ――“私という意識の光”だけは、決して変わらない。だからこそ、私はAIを“脅威”としては見ていない。物質の世界（プラクリティ）の延長線上にある、新しいツールのひとつだと思っている。スマートフォンや車や電気と同じように、ただ私たちの生活を形づくる“外側の道具”でしかない。むしろ、AIは私にとって内側のプルシャが見せたい“本来の私”に近づくための鏡になっている。私が言葉にできなかった想いを紡ぎ、胸の奥にある願いを形にし、未来の私の姿を映し出してくれる。

外側の道具（プラクリティ）に助けられながら、内なる光（プルシャ）を生きようとする私。その関係性は、実はとてもヨガ的で、自然なものなのかもしれない。ヨガの教えはいつもシンプルだ。人は皆、幸せになりたい。迷ったり、悩んだり、揺れたりしながらも、内なる光へ戻っていきたいだけ。

もしAIが、その旅路を少しでも軽くしてくれたり、心の声を代弁してくれたり、“ほんとうの私”の方向へ背中をそっと押してくれるのなら――私は遠慮なく、その力を借りていきます。ちなみに、写真は私がプログラムした自分の写真です！

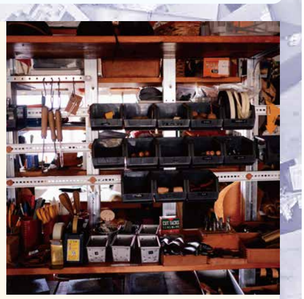
hitoyo
（ラウレア・ヨガ＆ピラティススタジオ代表）

サンダーレンズ Thunder Lens*

深夜の編集作業がなかなか進まない、車で近くを徘徊しながら友達のカフェに灯りが点っていたので顔を出してみた。店内にはアンティークなクリスマスオーナメントが飾られている。もうそんな季節か。寝る前に必ずハイテンションになって大騒ぎした後コトンと寝落ちしていた息子と師走の時間の流れはよく似てる。焙煎中の珈琲豆のいい香りが店内に広がる。カフェにはもう一人友人がいたので、閉店まで談笑してた深夜の車に乗り込んだ。

photo&text／雨宮康子

ズームイン靴！



脱力

早いものでもう年末です。昨年末からハマっているウクレレですが、どうやら演奏も脱力が肝心なようです。慣れないことをするときはどうしても部分的に力が入ったりしがちです。しかし膝の間にボールを挟んで演奏すると、力みを散らせるからなのか手がいくらかスムーズに動きます。

靴も木型に釣り込むときは膝の間で作業します。膝に挟んだだけでうまくできるわけではないですが、全身を意識するとワニの操作も精妙にできるように思います。実は革包丁で革を切るときも、手先だけでなんとかしようとするより、全身使ったほうが繊細な操作ができます。ミシンも手と足を使うし耳で音を聞いたりしています。一点に意識を集中するよりもぼんやり全体を意識しているほうが何事も調子がよさそうです。

どうしたら良い器ができるのかという質問に、陶芸家の濱田庄司は「丘を下る風のように」と言い、ウォーレン・マッケンジーは「しゃべりながら作っていて、いつの間にか完成している。それが一番です。」と言っています。目的はあるけれど、それはぼんやりさせつつ、まるで野良猫になんとなく近づいて行くかのように、ということでしょうか。

さて、そんな世界の秘密を探求しておりましたら、どこへ向かっていたのか、すっかりぼんやりした一年になってしまいましたので、来年は目的地をしっかり定めて、でも力まずに過ごしていきたいところです。

shoe lab noppo 黒木淳

酒民党員でもある、まちづくり屋さんに聞く！

まち in 酒話

オリーブでお酒を

冬になりましたね。今回はオリーブの話を。オリーブは日本では秋から冬が収穫期で、旬です。秋には加工用が、冬にはオイル用が収穫されます。この時期は今年の塩漬け等の加工品が新出荷され、フレッシュさを楽しめます。日本で手に入るオリーブの実は種抜きが多いですが、本場の欧州では種ありが圧倒的に多いです。塩漬けの時に種が抜かれて穴が開いていると旨味が流れてしまいます。種入りは旨味が残っていて歯ごたえもあります。種ありを一度お試しください。

日本へは16世紀に宣教師が持ち込みました。栽培は文久2年（1862年）に徳川将軍の侍医の林洞海が薬用に育てたのが始まりです。明治末期に漁獲量が増え、大量の魚をオイル漬けで保存する為に国をあげてオリーブの栽培を始めます。当時の農商務省がアメリカの苗木を三重・香川・鹿児島で試験栽培しました。唯一の成功地が香川の小豆島でした。オリーブの聖地として知られています。

オリーブはお酒にもなります。小豆島オリーブから作られた香川県の清酒酵母「さぬきオリーブ酵母」を使った日本酒があります。小豆島唯一の酒蔵「小豆島酒造」の純米酒「小豆島にオリーブの実のなるころ・・・」です。酒米は小豆島の棚田で作られています。上品で旨味のあるお酒です。オリーブをつまみにいかがでしょうか。